

## 【第5回 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)に係る検討会の概要】

- 1 日 時 平成28年11月1日(火) 19:00~20:10
- 2 場 所 小俣総合支所 第1・2会議室
- 3 出席者 深草正博、美濃松謙、伊豆 敏、宮本 彩、安田悦子 計5名
- 4 内 容

(1)第4回検討会の概要報告

(2)検討課題について

- ①第1期の統合スケジュール及び第2期以降の統合について
- ②「基本計画(案)」における他の項について
- ③その他

### 【検討委員の意見(要旨)】

- ・期間も長く明確にしにくい部分もあるが、スケジュールとしては概ね現行のとおりでよいと思う。
- ・人口動態の変化など、不確定要素があるとしても、第1期で進めるべき学校は名前を出して進めないといけない。全学年1学級となる学校や、沿岸部の学校がそれにあたる。
- ・第2期については、学校名は入れず、統合の基準を謳えばよいのではないか。
- ・名前が挙がっていない学校は、統合はないと勘違いする可能性もある。
- ・基本計画(案)自体に不確定要素が多いため、いつまでたっても(案)がとれないのではないか。
- ・現在、第2期の統合に名前が挙がっている学校でも、今後適正規模を満たすことが予想される学校もあるし、第1期及び第2期に名前が挙がっていない学校で適正規模を下回る学校が出てくる可能性もある。
- ・第2期は統合だけでなく、調整区域など通学区域の変更により対応することも視野に入れるべきである。
- ・適正規模の考え方自体を理解していない人も多い。広く理解を得るためには、さらなる周知が必要である。
- ・施設整備を中心に考えるのではなく、二見・今一色統合校のように、まずは既存の施設で統合し、その後整備を行うのでもよいのではないか。
- ・廃校施設の跡地利用について、場合によっては取り壊すことも考えられるのであれば、有効活用という文言は抜いてもいいのではないか。
- ・以前より市民の防災への関心は高まりつつある。跡地の検討においては、そこを考慮する必要がある。